

健康メモ

狭心症

広島市医師会理事
広島赤十字原爆病院循環器科部長

加世田俊一

人間ドックで

「心電図に異常はありませんが」とご説明すると、「じゃあ、



狭心症や心筋梗塞は大丈夫ですね、安心しました」とのご返事を貰うことが多い。残念ながらこれは誤解です。狭心症患者さんの、症状のない時の心電図は原則として正常です。検診の心電図が正常だからと言って安心できないのです。また、心筋梗塞と狭心症は心臓の血管の動脈硬化という点で関連が深いのですが、心

筋梗塞患者さんの過半数では狭心症の症状が先行することなく、突然心筋梗塞を発症します。

狭心症の症状は「胸痛」であるとは多くの本に書いてありますが、実は鋭い痛みではなく鈍い圧迫感や重苦しい感じが一般的です。胸の痛みはいつからですか？と尋ねると「先生、私は胸は痛くないんですけど」と答える狭心症の患者さんもいらつしやいます。また、狭心症の症状は一過性であって長続きしません。「先生、でも休めばすぐ良くなるんですよ!」と、ご自分の病気を否定するように言われる患者さんも時におられますが、医者の立場からはこれは典型的な症状です。逆に一日中胸がヘンという方では狭心症は否定的です。心臓が痛いんです、と訴える患者さんが本物の狭心症であったことは今まで一度もありません。全員が心臓神経症でした。

狭心症や心筋梗塞になりやすい状態は冠危険因子と呼ばれ、喫煙・糖尿病・高血圧・高脂血症・肥満などが知られています。タバコは肺ガンの誘因として有名ですが、狭心症などの動脈硬化を生じる危険因子としても強力です。この数年、日本でも公共の場での喫煙規制が強くなっています。タバコを嗜まれる方を見ると、厄介なもの縁が切れなくなつて難儀なことだと同情さえしてしまいます。

検診の度に糖尿病や高血圧を指摘されながら、無症状として治療を受けない方もおられます。何のために毎年律儀に検診に来られるのか不思議に思います。これらをきちんと治療した上で、胸の違和感を感じたら狭心症の検査を受けることをお勧めします。

